

いう会社があるという事を皆さんに記憶に是非残して頂きたいと思います。是非クラロンに足をお運び下さい。

最後に、東日本大震災から13年9ヶ月ですが、私はこの間本を3冊出しています。「大和田ノート」「続大和田ノート」そして今年の9月に出した「続々大和田ノート」全て福島民報社から出版しています。何故このタイトルにしたかといふと、私は震災当時浜の方へ行った時いろいろなものを見てきました。遺体安置所にも行きましたし目を覆うような亡骸も見ました。そういうものを見て会社に戻った時、会社の仲間にも妻にも子供にも言えませんでした。でも災害の現状を誰かに聞いてもらえない、俺はもう災害報道を続けていく事はできない、心の支えになってくれる人はいないのだろうかと思った時、一番に思い浮かんだのは会津美里町の車椅子のエッセイスト大石邦子さんでした。そして出版する時、大石さんに相談しました。そうしたらタイトルは「大和田ノート」にしなさいと言われました。

どうしてかと聞くと「あなたは私に6,000通の写真やメッセージを送ってきたのよ」と言いました。私はまったく記憶にありませんでした。これは「大和田ノート」を出版する時の写真です。1冊2,000円です。その内1,000円を福島市のパンダハウス(小児がんと闘う子供達とその家族を支援する施設)に送金しています。何人泊まっても一泊3,000円です。福医大のがん治療の優秀さを世界が認め、この施設には世界中から治療に来ています。国内外の多くの助けになっています。是非「大和田ノート」お買い求め頂ければと思います。今日ここでお話を頂いた事を大石さんに報告します。皆さんご清聴ありがとうございました。

「笑顔を絶やすな
あいさつはしたか
感謝はしたか
油断はしないか
満足の一日だったか」



援護化学(株)

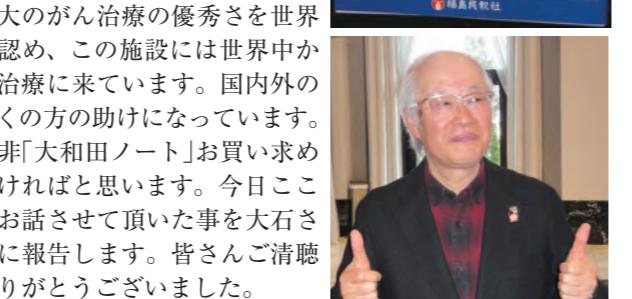
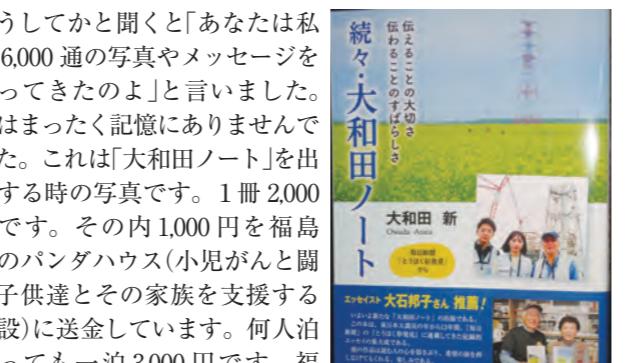
代表取締役社長 滝田吉宏

〒963-8834 郡山市図景1-17-24
TEL 932-0440 FAX 922-9119

いう会社があるという事を皆さんに記憶に是非残して頂きたいと思います。是非クラロンに足をお運び下さい。

最後に、東日本大震災から13年9ヶ月ですが、私はこの間本を3冊出しています。「大和田ノート」「続大和田ノート」そして今年の9月に出した「続々大和田ノート」全て福島民報社から出版しています。何故このタイトルにしたかといふと、私は震災当時浜の方へ行った時いろいろなものを見てきました。遺体安置所にも行きましたし目を覆うような亡骸も見ました。そういうものを見て会社に戻った時、会社の仲間にも妻にも子供にも言えませんでした。でも災害の現状を誰かに聞いてもらえない、俺はもう災害報道を続けていく事はできない、心の支えになってくれる人はいないのだろうかと思った時、一番に思い浮かんだのは会津美里町の車椅子のエッセイスト大石邦子さんでした。そして出版する時、大石さんに相談しました。そうしたらタイトルは「大和田ノート」にしなさいと言われました。

どうしてかと聞くと「あなたは私に6,000通の写真やメッセージを送ってきたのよ」と言いました。私はまったく記憶にありませんでした。これは「大和田ノート」を出版する時の写真です。1冊2,000円です。その内1,000円を福島市のパンダハウス(小児がんと闘う子供達とその家族を支援する施設)に送金しています。何人泊まっても一泊3,000円です。福医大のがん治療の優秀さを世界が認め、この施設には世界中から治療に来ています。国内外の多くの助けになっています。是非「大和田ノート」お買い求め頂ければと思います。今日ここでお話を頂いた事を大石さんに報告します。皆さんご清聴ありがとうございました。



(株) ななみ

代表取締役 七海正克

〒963-8803 郡山市横塚2-15-13
TEL 943-3939 FAX 944-7799



第20回例会
No.2793

会長/鈴木 茂幹 事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

クラブ年次総会 ~次年度役員・理事発表 ゲスト卓話「父が残してくれた言葉」
ラジオ福島パーソナリティ 大和田 新氏

開会点鐘 国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

四つのテスト唱和

鈴木 茂会長挨拶

皆さん今日は。本日もご参集頂き有難うございます。ほぼ一ヶ月ぶりに例会場に帰ってきました。秋の季節感無しにあつという間に寒くなってしまい、気象学者が日本は四季ではなく、物凄く暑い夏と冬の二季になると書いていました。先日寿司屋で食べた相馬沖のたらふぐは大変美味しかったのですが、たらふぐ=山口県ではなくなり、温暖化が進んできたのかなと思います。

10/21(木)ボジョレーヌーボーの夕べ(3RC合同夜の例会)に多くのご参加有難うございました。各RC会員からも大変楽しい会であったと聞いております。しかしながら、ボジョレーヌーボーを総勢60名だったにもかかわらず、どうせ直ぐ日本酒を飲み始めるだろうからと会長同士で相談し、10本しか用意せず大不評でした。大変反省しております。

10/27(木)早朝清掃に参加された会員の方々お疲れ様でした。駅前はきれいで、皆さんの意識の高さというのが郡山の駅前に出ているのかなと思います。会長に就任して5ヶ月経ち、6ヶ月目を迎えるました。これからも頑張って参ります。どうぞ宜しくお願いします。

出席報告

今泉雄二出席小委員長
会員数39名 出席者数23名 欠席者数16名 出席率58.97% 前回出席率100.00%

幹事報告

滝田吉宏幹事
12/10(次)郡山東RC⇒12/11(木)6:30PM クリスマス家族会
レストラン「THE」

ニコニコBOX報告 阿部治江ニコニコBOX委員

森尾和衛会員 親知らず歯の手術を終え無事退院してきました。鷗原健太郎会員 久々の出席です。宜しくお願いします。関根英樹会員 お掃除に寝坊して行けなくてすいません。大和田さんのお話楽しみです。鈴木 茂会長 大和田さん宜しくお願いします。鈴木淳弥会員 大和田さん

さんの卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。高橋金一会員 大和田様ようこそおいで下さいました。濱尾博文会員 大和田様、卓話楽しみにしています。星

千春会員 新さん、毎週ラジオを聴いています。本日も楽しみにしています。満井紀勝会員 大和田さんお久しぶりです。卓話楽しみにしています。柳

沼克彦会員 ゲスト卓話楽しみにしていました。
阿部治江会員 今泉雄二会員 遠藤雄一会員
金田岩光会員 佐藤克敏会員 鈴木功一会員
高橋晋也会員 滝田吉宏幹事 丹生修一郎会員
堀江正喜会員 宮本 孝会員

今週のニコニコ大賞 森尾和衛会員

クラブ年次総会
~次年度役員・理事発表

鈴木淳弥会長エレクト

会長/鈴木淳弥 会長エレクト/滝田吉宏 副会長・幹事/高橋晋也 会計/橋本忠雄 SAA/石田弘 クラブ管理運営委員長/佐藤克敏プログラマム委員長/関根英樹 会員増強・維持委員長/鈴木功一 クラブ広報委員長/森尾和衛 奉仕プロジェクト委員長/金田岩光 直前会長/鈴木 茂 親睦活動委員長/宮本 孝 戰略計画委員長/高橋金一
ゲスト卓話「父が残してくれた言葉」
ラジオ福島パーソナリティー 大和田 新氏

今日はこのような貴重な時間を頂きました事を心より感謝申し上げます。本当に有難うございます。

私は神奈川県横須賀市の出身です。横須賀と言うと米軍の海軍基地がある所です。私は海も山も川も大好きで、海と共に育ててきました。福島県にも浜通りには美しい海がありますが、原発事故で避難生活を送っている方が26,000人以上いらっしゃるという現状も忘れてはいけないと思います。私は、あの13年9ヶ月前の東日本大震災が無ければ、今頃大好きな故郷に戻って大好きな海軍カレーを食べながら友達とホッピーを毎晩飲んでいたんじゃないかなと思います。私の人生を大きく変えてしまったのが東日本大震災であるという事です。

私の両親ですが、母は小学校、父は高校の教師でした。母は59才という若さでがんで亡くなりました。父は89才まで頑張り、次の日で90才という日に亡くなつたので、実質90年生きたという感じです。

皆さんは横須賀出身の昭和の歌姫と言うと誰を思い浮かべますか? そうです山口百恵です。なんと私の母は百恵さんの小学校4~5年の担任でした。どうしても百恵さんの成績が知りたくて、母に聞いても勿論教えてくれませんでした。しつこく何回も聞いて、とうとう教えてもらったところ、百恵さんは5段階評価でオール5だったそうです。勉強だけなくスポーツもできたようです。皆さんご存じのように彼女はシングルマザーの母に育てられ、母のパートで生活していたので生活は苦しく、高校進学は諦めていたそうです。で



(株) ななみ

代表取締役 七海正克

〒963-8803 郡山市横塚2-15-13
TEL 943-3939 FAX 944-7799



もその後、彼女の歌声が彼女の生活を、人生を変えてくれました。私にとっても山口百恵さんの存在というのは、非常に大きいと感じています。

私の父は高校の国語教師で言葉には凄くうるさかった。父が絶対に使わせてくれなかったのがヤバイという言葉で、ヤバイというのは危ないという意味合いでしたが、今では例えば競馬で大当たりした時の表現にも使うようになってきています。昔、牢屋を「厄場、やくば」と言いそれが短くなり「ヤバ」。牢獄でよからぬことをしている囚人が看守に見つかりそうになると、「ヤバ、ヤバ」と言い合って囚人どうしで看守の存在を教えあったとも伝わります。父はそういう事を良く知っていたからです。

それでもう一つ絶対に許してくれなかつた言葉がありました。それは8月15日の表現です。終戦記念日という言葉を我々メディアでは使っていましたが、戦争を経験して、特に東京大空襲時の目の前の川を流れてくるご遺体や、体中焼けただれた姿を見ている父は決して許してくれなかつた。記念日とは誕生日のように何かめでたいものを祝うようだと、戦争に負け、これからどうやって生きて行けばよいのか、日本が無くなってしまうかもしれないと思った日を、とても記念日とは言えず、父は8月15日をずっと敗戦の日と言いつけていました。そんな父ですが、毎晩大好きなウイスキーを飲んで酔っ払うと必ずある歌を歌っていました。それは(※大和田氏スーダラ節を熱唱!)でした。

父が私に残してくれた言葉が忘れられません。

「縁と恩を大切にして生きろ」

「俺が死んでも仕事を休むな」

母は横須賀で亡くなりましたが、父は2015年6月1日(月)に福島で亡くなりました。その日はラジオ福島で夜7時から2時間震災報道番組の生放送で、インターネットで世界中に発信でした。3日(水)は講演依頼、5日(金)はKFBで番組収録とほとんど毎日仕事がある状況で、どうしたらよいかという時、私の友人で福島市の曹洞宗淨圓寺ご住職、私はつるりん(鶴林)和尚と言っていますが、阿部光裕氏に相談したところ、全部俺に任せろと、火葬も葬儀も一切、私よりも10歳以上年下のつるりん和尚に任せました。それもご縁だと思います。父が死んだその日から一週間、父の言葉通りに私は仕事をしていました。これが現実でした。「縁と恩」の大切さを実際いろいろな方から学びました。

昨年の3月に私にがんが発見されました。ステージ4でした。5年生存率60%と言われました。これで死ぬのだと思いました。福島日赤病院の医師からは直ぐに摘出手術と言われました。放射線治療はと尋ねると、骨に転移していると思われる所以その選択は難しいと。私は骨に転移しているかどうかちゃんと検査して下さいと言って、一泊二日で検査して、その結果骨には転移していない事が分かりました。今度は放射線治療ができるという事でした。放射線治療ができるのは福島医大と伊達市にある北福島医療センターの二か所で、私の自宅から福島医大は3分なので、当然日赤の

プルデンシャル生命保険(株)

副部長 鈴木 茂

〒963-8005 郡山市清水台1-6-21 山根郡山ビル8F
TEL 991-9561 FAX 934-2513

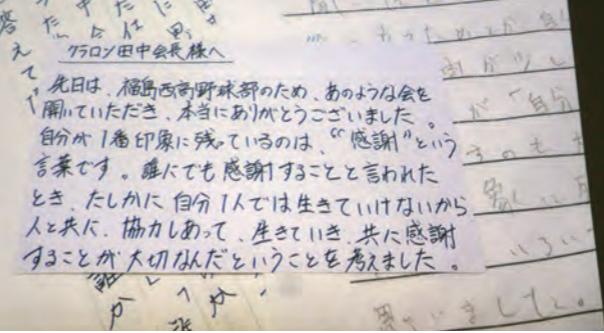
うな会社が福島にはあるのです。日本でいちばん大にしたい会社』とう本で、2015年ラロンは日本でいちばん大切にした





会社 No. 1 に選ばれたのです。その理由はいっぱいありますが、高齢者、女性、障がい者の雇用率が非常に高いとい事が先ず上げられます。社員 135 名の内、8割が女性でがい者が 35 名です。障がい者雇用率 25% をはるかに超っているのが、このクラロンという会社です。135 名の内社員は 135 名、という事はパート・アルバイトは一切受け付けていません。定年は 60 才ですが定年後も働いている方ほとんどです。その方達もパート・アルバイトとは認めず員社員とする。それがクラロンという会社です。

皆さん方経営者の方々にお聞きいたします。会社にとって、業にとって一番大切な事は何でしょうか。もちろん人材も続する力も大事ですが、やはり利益です。黒字です。こクラロンいう会社は常に黒字なんです。2011年あの大震がありましたが、クラロンは体操着メーカーですので、浜りの小・中・高の体操着の6割がクラロンだったので、それが全滅でした。田中須美子会長は2011年原発事故でクラロンは潰れると思っていたそうです。でもそれをさせなかつのが従業員の皆さんでした。従業員が徹底的に仕事をします。それがクラロンという会社です。女性の雇用率が高い、障がい者の雇用率が高い、そして経営力が非常に高いという事です。障がい者の作るものは物凄くいいんです。例えばケーキにしても手抜きは無いのです。手抜きするのとは々健常者です。障がい者の方は手抜きをする事なんて考へてない。ですのでクラロンの製品は物凄く評価が高い。それが日本一になった理由です。今、田中須美子会長は99才ですが、8年前91才の時、福島市にある県立福島西高校の球部の生徒40名が、企業見学でクラロンを訪ね、田中須美子会長の講演を一時間聴いたのです。その時の感想文が手書きのものです。この中に忘れられない感想文があるので紹介させて頂きます。



「田中会長から学んだ事 今回はクラロンに訪問させて頂いて有難うございました。僕はクラロンに訪問させて頂いた

高橋金一法律事務所

所長高橋金一

〒963-8878 郡山市堤下町1-44
TEL 935-5770 FAX 935-5772

時、最初の挨拶や僕たち高校生に対する態度が、他の会社とは全く違うなと感じました」ここなんです。高校生は純粋じゃないですか。だから、この忙しい時に企業見学になんて来るんだ、という態度をする会社がいっぱいあるのですが、高校生はそれが分かるのです。今までそういう会社が多かったのに、「今回のクラロンという会社の僕達高校生に対する態度が他社時全く違うと感じました」これがクラロンなんですよ。「クラロンは従業員 135 名中 100 名が女性で、障がい者雇用にも力を入れており、普通の会社では成しえなかっただけで障がい者雇用率 30% 障がい者雇えで、社会にとても貢献しています。僕は田中会長を初めてこの人が 91 才だなんてびっくり、素晴らしい喋り方でした。田中会長に貴方は何を教勵くのですかと聞きました。すると田中会長は、人の役に立つためよ、感謝されるためよ、誰かに必要とされるためよと答えて下さいました。誰かに必要とされる事で、人に役立つたり、助けてもらえる事ができるんだと実感しました。また田中会長は、尊敬する先生を見つける事、友人を見つける事、そして一番大切なのは人生で最も愛する人を見つける事を若者にきちんとやってほしいと仰いました。僕は中学校でとても尊敬する先生に出会いました。その先生は目に障害を持っており、健常者の 2 % の視力しかありませんでした。それでも先生は教え方が熱心で、その姿勢が評価され、全国の教師の道徳の賞を受賞しました。僕は田中会長が仰っていた感謝するという事をもう一度考え、クラロンを訪問する事を促してくれた増田先生、僕達のような高校生でもしっかりとした態度で迎えてくれたクラロンの従業員の皆さん、そして僕を産んで育てくれた親に初めて感謝の気持ちを表現したいと思いました」実はこの 17 才の高校生は、浪江町・青戸から福島に避難してきていたのです。父親は漁師で船の家も流されました。原発が爆発してからは漁師の仕事はできず、毎日酒を飲み寝ていました。母親のパートで妹と一緒に家 4 人何とか暮らしていましたが、少年は行きたかった大学進学もあきらめざる負えませんでした。永年やってきた漁師の仕事ができない状況の父親を、少年は全く理解できず、仕事をしない父親を恨んでいました。でもクラロン田中会長の話を聴いて初めて両親に感謝する事を改めて学んだのです。仕事を無くすという事が、どんなに辛い事だったか、悲しい事だったか、少年はやっと分かりました。その後少年は卒業したら就職をして早く両親を楽にしたいと伝えました。

たった1時間の田中会長の話を聴いただけで、少年の生き方が、そして家族の生き方が変わりました。少年は東京の企業に就職し、毎月家族に仕送りをしています。大学進学の夢は妹に託し、その資金を出したのは兄です。父親はトラック運転手として再スタート、アパートから一戸建て住宅へ移りました。この写真は企業訪問の高校生の感想文を読んだ田中会長の感想文です。高校生1人1人に直筆で感想文を送っています。そんな企業有りますか？それがクラロンです。2才の誕生日の時、福島西高校の生徒が田中会長に誕生日おめでとうのメッセージを送りました。嬉しそうに笑っています。

平晋建設(株)

代表取締役 高橋晋也

〒963-0101 郡山市安積町日出山字大洲河原142
TEL 944-2266 FAX 942-5690